

かわにし

議会だより

第116号

2014

1.15



元気臨時交付金

2億400万円を財源更正..... 2

国際交流 ダリアがとりもつ縁..... 4

農業問題など3議員が町政をただす... 6

町内3カ所で意見交換会開催..... 10

今年も
ウマい年に

P9に関連記事 中郡・杉の子クラブの餅つき

地域の元気臨時交付金

2億400万円を財源更生

12月定例会のあらまし

12月定例会が12月3日から13日までの11日間の会期で開かれました。
第1日目に、請負契約の変更2件を可決し、条例1件、字の区域、名称の変更1件を常任委員会に付託、条例1件、一般会計等補正予算3件を一括上程し、予算特別委員会に付託しました。
第2日目に、一般質問を行い3議員が農業問題など

を取り上げ、町政をただしました。
第3日目以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。
最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き、付託した6議案、議員発議1件を原案どおり可決し、請願1件を採択して、1意見書を国に提出しました。
なお、今期定例会の傍聴者は3人でした。

国は平成24年度補正予算で日本経済再生に向けた緊急経済対策を実施した。本町でも5億2628万円の公共事業を実施した。
実施に当たっては、地方負担が過重になることから、国が地方の負担額に応じて「地域の元気臨時交付金」を交付することとなった。本町の額が確定し、一般会計補正予算で財源更正を行うこととした。本町における交付額

の算定は以下のとおり。防雪柵設置工事、高山地区、こうずく地区基盤整備など13事業の事業費合計額が5億1796万5千円となった。その内本町負担額が2億2667万4千円であった。その額に交付係数0.9を掛けた額が「地域の元気臨時交付金」となり、本町への交付額は2億400万7千円となった。本町の地域の元気臨時交付金の使途は、平

成25年度の町単独事業に充てることとし、水道事業会計支援事業や、旧二中施設整備事業等7事業に充てる。本町では過疎債、県振興資金、道路整備事業債など、すでに町債（借入金）で事業を行うこととしていたが、この交付金を活用し、財源更正を行うこととした。
この結果、本年度の借入金（町債）は12月補正予算の段階で、15億8133万円から、1億9410万円（内県振興資金分1660万円）を減額し、13億8723万円となった。

財源更正

自治体の予算は歳入（収入）と歳出（支出）に分かれている。ある事業予算の歳出が100万円で、財源内訳は町債（借入金）が50万円、一般財源税（金や交付税など）が50万円だった。事業が終了して歳出

は100万円に変更がなかったが、町債（借入金）に代わって補助金ができることとなった。このように、歳出予算は変更がなく、その歳出に対する歳入の内訳が変更になることを「財源更正」といい、議会で補正予算の議決を経ることになる。

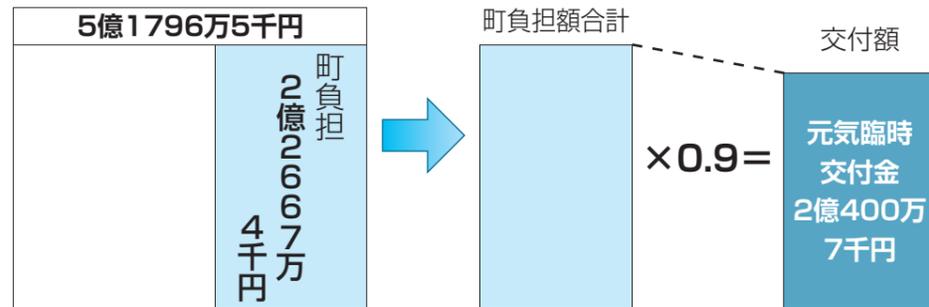


「地域の元気臨時交付金」を活用、コミュニティ施設への整備が進む旧二中、28年に供用予定

地域の元気臨時交付金のスキーム（枠組み）

平成24年度補正予算公共事業

- 1 基盤整備(高山)
 - 2 基盤整備(こうずく)
 - 3 防雪柵(大塚東線)
 - 4 防雪柵(坂水萩野線)
 - 5 防雪柵(ハツ口宿線)
 - 6 橋梁長寿命化
 - 7 町道舗装補修
- 等13事業



財源更正の内訳（単位千円）

事業名	事業費	財源更生前			財源更生後		
		国県支出金	町債	一般財源	国県支出金	町債	一般財源
旧二中施設整備	52,762		52,700	62	52,762		0
水道事業会計支援	81,450		81,400	50	81,450		0
道路側溝整備	15,000		13,500	1,500	15,000		0
県単事業負担金	21,049		2,000	19,049	21,049		0
新山川中線道路	4,500		4,500	0	3,585		915
東陽寺前中線道路	16,000		14,400	1,600	13,927		2,073
中心市街地活性化	18,000		9,000	9,000	16,234		1,766
合計	20,8761	0	177,500	31,261	204,007		4,754

地球の裏側と交流事業展開

ブラジル・スザノ市の福祉施設ダリア園へ

2月10日から18日までの日程で、原田町長、齋藤議長他1名がブラジル・サンパウロ州のスザノ市を視察訪問することになった。これは同市にあるイペランジャホームのダリア園の開園20周年の

記念式典に招待されたものである。この施設は、大塚出身の内谷忠雄氏の寄付によって1959年に設立された高齢者のためのホームで、広大な敷地にダリア園が併設されている。

平成6年のこの園の開設時に川西ダリア園から90球の球根が送られ、その翌年に200球、さらに平成20年にも250球を贈呈したいきさつがある。平成10年、当時の高

国際交流事業

307万円



上段 イペランジャホームのダリア園
下段 施設正面全景

予算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など3会計補正予算及び条例1件を審議し、いずれも可決しました。主な補正予算、分科会での質疑は以下のとおりです。

橋町長が県人会創立45周年にあたってブラジルを訪問した。その折に二つのダリア園の「姉妹園」の覚書が締結されたが、遠く離れていることもあり交流展開には至らなかった。同市の人口は約27万人。輸出産業を中心とする物流都市。在住する山形県出身は16家族で、うち3家族が本町出身であるという。

今回の訪問を機に、ダリア栽培のみならず若者の派遣研修や、福祉分野での情報交換・交流の発展が期待されている。

補正予算



総務文教 第1分科会

問 認可保育所経費の補助金とは何か。

答 国の安心こども基金を活用し、県が取り組む事業で、

認可保育所の保育士の処遇改善のための補助金である。

問 西大塚路線のスクールバスをリースすることだがどうだろうか。

答 この路線のバスは、平成9年に購入し、走行距離などにより損耗が激しいことから、リース対応とした。

産業厚生 第2分科会

問 除雪委託料については先の第3号補正で確保されたの

では、このたびの委託料単価改定によるもので、オペレーターの人件費の上昇が要因である。

意見 オペレーターの人材確保について委託業者と協議・検討されたい。

問 退職被保険者等に3039万円の増額補正であるが、どういうわけか。

答 国民健康保険の退職被保険者は昨年比46名増加しており、入院に係る療養給付費や高額な治療を受けている方が多いことによる。

平成25年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計 (4回目)	99億8663万円 (7669万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険 事業特別会計 (2回目)	19億3694万円 (8039万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者 医療特別会計 (1回目)	1億7056万円 (1437万円を追加補正)	全員賛成により可決

平成25年度補正予算(第4号)の主な内容

歳出(支出)

議会費(報酬・手当の減)	△251万円
認可保育所補助金(保育士処遇改善)	105万円
国際交流(ブラジルへ P4参照)	307万円
道路維持管理費(電気料金の値上げ分)	100万円
スクールバスリース料、燃料	242万円
除雪委託料	2600万円
障害介護給付費など扶助費	3152万円

歳入(収入)

国より 地域の元気臨時交付金	2億400万円
置賜広域病院組合過年度返還金	3188万円

一般質問

来年からのコメ生産調整見直しの対応策は

町長―本町農業への影響を分析し、水田をフル活用した「ぶれない農業」のビジョン策定に取り組む



橋本欣一 議員

橋本 政府は来年から経営所得安定直

接払い（旧戸別所得補償）を半額の7500円とし、2018年から生産調整を廃止すると発表した。生産調整によって一定のコメの需給が保たれ、経営安定直接払いで採算をとっていた。あらゆるところから不安と不満の声が上がっている。金額的に町ではどのくらいの影響があるかまた、その対応は。

町長 町内では4415ヘクタールの

水田があり、コメを基軸としている。今回の政策の見直しで多大な影響が出るものと懸念している。昨年度の直接払い交付金だけをとれば農家の数の76パーセントが契約し、4億1500万円を受領している。10年20年先の農業を考え、次世代に受け継ぐためにどうすべきかを考え、「ぶれない」

長期戦略が必要と考える。

橋本 4億1500万円の半分になる

わけだから農家個々にとつても、町・地域経済にとつても死活問題となる。のんきに構えている時ではないと思うがどうか。直接支払いだけをとればそうなるが、その他環境保全やえさ米栽培等を加味すると昨年を上回るといわれている。

橋本 上回るといわれる。今まで直

接払いがあつて農家経営や将来設計が成り立っていた。環境保全や地域払いでは農家個々に対して、直接補助するのとは違いました。効果が期待できない。農地中間管理機構（農地バンク）をどう考えるか

バンク）設立がある。

農地を所有者から農地バンクに借り受けし、整備したうえで希望者に貸し付けるものだ。ただし、地域の状況や人の情報を知っている農業委員会やJAの許可や承諾なしで貸し借りできるため、農地が企業や地域外の経営者に簡単に貸出され、トラブルが起こることが予想される。

現在、各地区などで「人・農地プラン」が

策定されつつある中で、これが無視される危険性があるがどう考えるか。農地の実態に基づいた農業振興が大切であり、農地の多面的な機能が十分に発揮できる政策を国・県にはたらきかけ



コメ中心から多品目栽培へ

定例会2日目に、3人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

国のモデル事業指定、「買い物難民」をどう考えるか

町長―持続性のある視点から研究を

淀 「買い物難民」という言葉は住

民には馴染まないが、買い物弱者を支援するための行政機関や公文書に使われている。現在、全国に1742ある自治体の内7区域が「買い物難民」支援モデル事業の指定を受けている。吉島地区がこの1か所に入り調査が始まった。この事は大変珍しくもあるが、町の現状が厳しい証にもとれる。事業主体は吉島地区交流センター特定非常利活動法人「きらりよししまネットワーク」。平成25年6月から平成26年2月まで65歳以上

の1人独居老人などの30所帯を対象に、買い物注文と無料配達代行サービスを実施、調査している。国の緊急雇用の目的もあり、調査研究委託料256万円が交付された。買い物難民についてはどう考えるか。

町長 吉島地区は、総務省直轄の補助事業、総合生活支援のモデル事業に申請し採択された。吉島地区商工会や地区福祉関係団体と情報を共有し、高齢者や弱者を支える仕組みを研究している。

コンパクトシティとは

国の行政課題の1つに、中心市街地の空洞化、ドーナツ現象が進む中で、コンパクトシティづくりがあがっている。コンパクトシティとは、学校、病院などの公共機関や商店街、住居などを1か所の区域にまとめる街づくりで、買い物難民の解消にもなると思われる。すでに青森市などでは郊外への大型スーパーの抑制をしている。しかし山間部の地域住民を、町中心部にまとめる発想には戸惑いを感

高齢化社会におけるまちづくりの有効な手段の1つと考えられ、持続性のある視点から研究する必要があると考える。

淀 大規模小売店舗法により、大型スーパー出店計画では地元商店街と話し合いがもたれたが廃止された。コンパクトシティづくりと、廃止になっ

大規模小売店舗法との関係や、経済効率を中心にした街づくりに疑問がある。

町長 少子高齢化が進む中、中心部の活性化と各地区の地域づくりが肝要と考える。町の高齢化率は30%と高い。買い物難民の調査結果に期待する。



淀 秀夫 議員



急がれる商店街の振興

一般質問



齊藤智志 議員

町のシンボル「桜の木」管理の在り方を問う

町長ー今後も「桜見守り隊」の指導助言をおおぐ

齊藤 本町には、桜の植栽地は何箇所あり、管理は誰が行っているのか。町民の皆様に見ていただき、育んでいただくため、植栽地に看板を設置し、長く維持管理のできる環境を作るべきである。

本町には、桜の植栽地は何箇所あり、管理は誰が行っているのか。町民の皆様に見ていただき、育んでいただくため、植栽地に看板を設置し、長く維持管理のできる環境を作るべきである。

齊藤 本町としての桜見守り隊の位置づけと関わりは、

町長 桜見守り隊は、平成18年に自主組織として結成された。会員は21名を数え、町内の植栽地を巡回し指導助言を頂いている。美女木やダリヤ園の隣接地である「ふれあいの丘」の桜は直接管理

町長 桜見守り隊は、平成18年に自主組織として結成された。会員は21名を数え、町内の植栽地を巡回し指導助言を頂いている。美女木やダリヤ園の隣接地である「ふれあいの丘」の桜は直接管理

町長 桜見守り隊は、平成18年に自主組織として結成された。会員は21名を数え、町内の植栽地を巡回し指導助言を頂いている。美女木やダリヤ園の隣接地である「ふれあいの丘」の桜は直接管理

町長 桜の支障木があることから、見守り隊等と事前協議を行った。老木付近の歩道整備工事については、協議しなかったためお詫びす

町長 今後も桜見守り隊のアドバイスを頂き桜の育成管理を行っていく。必要に応じて樹木医等の助力を受けたい。

齊藤 置賜公園整備事業に際し、桜見守り隊との事前協議は行われたのか。また、桜の老木の根元を掘削して遊歩道を整備しているが、桜の木が枯れしてしまうのでは。

また、桜見守り隊から「桜の植栽と管理」に関して具申を頂くことができるシステム作りを検討する。

町長 工事予定箇所に桜の支障木があることから、見守り隊等と事前協議を行った。老木付近の歩道整備工事については、協議しなかったためお詫びす

齊藤 桜の木を定期観察して頂くため樹木医などの活用を求め。

町道などへの案内表示板の設置を求める

齊藤 来町する人からう行けばいいの迷うとの話を聞く。特に吉島や東大塚の道路が問題である。また、井上ひさしやダリヤ園、それに米沢牛の主産地など、本町を宣伝する看板がない。看板での宣

伝も必要である。さらに、ダリヤ園や置賜病院、フレンドリープラザなどへの案内看板設置も求める。

町長 町の広報宣伝と看板の設置は必要である。山形県屋外広告物条例の規制対象とならない範囲で、効果的設置場所を近隣市町との共同設置も含め調査研究を行いたい。



桜の名所置賜公園の問題の遊歩道

消費税増税にともない

使用料などアップ



使用料アップでも変わらぬ利用を

平成26年4月1日から消費税が5パーセントから8パーセントに引き上げられることに伴い、町内各施設の使用料・利用料金の消費税率を8パーセントに引き上げるものである。料金等のうち、総額表示されているものは消費税を除いた価格に改定後の税率を乗じて求めた。

該当する施設等料金・使用料条例は教育施設、体育館、浴槽センター、フレンドリープラザなどの14条例・18項目。引き上げ額は約120万円となる見込みである。

賛成多数により可決 (反対1人)

川西町国民健康保険条例と町税条例の一部改正

主な改正点は、年金から天引きされる個人住民税の特別徴収対象者が、他市町村に転出したり、医療費控除などで住民税額が変更になった場合、一定の要件のもと、そのまま特別徴収を継続する。

また、徴収額の急激な変化を避けるために年間の徴収額が標準化されるよう、算定方法を見直す。

さらに、税負担に左右されずに金融商品を選択できるよう課税方法を変更する。

全員賛成により可決

契約

防雪柵増工事

9月定例会で、大塚東線(東大塚地内)と八ッ口宿線(尾長島工業団地前)の防雪柵設置工事の契約が可決された。工事が着工している。今議会ではさらにそれぞれの工事個所の延長と追加工事の提案があった。

大塚東線では、東大塚から下田にかけてのカーブにも防雪柵を延長(64m)、1000万円を追加した。

八ッ口宿線については路肩補強防草のため工事費91万円を追加した。

全員賛成により可決

表紙の写真



今年もウマイ年に

12月27日、中郡地区の放課後児童クラブ「杉の子」による餅つきが行われました。蒸した餅米を杵と臼でこね、その後餅をつく本格的なもので、最初は指導員の先生やセンタリーの関係者の方々が餅をつき、仕上げは子どもたち全員で行いました。初めて杵を持つ子どもたちが多く、心配されたが、見事に餅がつきあがり全員でおいしく食べました。餅を食べながら、平成26年が子どもたちの飛躍の年となるように願いました。

こんな質問・要望がありました(抜粋) 議会ホームページで公開されます

地区名	月日	会場	参加者	議員 (先頭が班長)
小松	11月12日	中央公民館	34人	高橋 忠、佐々木賢一、島貫徳右工門、斉藤 智志、(高橋 照夫)
大塚	11月13日	大塚地区交流センター	30人	淀 秀夫、佐々木賢一、加藤 俊一、橋本 欣一、(齊藤 修一)
中郡	11月19日	中郡地区交流センター	24人	高梨 勇吉、金子 一郎、黒澤 巖、高橋 建一、遠藤 章一

	質疑、要望、意見	質疑等への回答・今後の対応
1	今後の町有施設のあり方 ○庁舎は、あとどの位使用可能か。 ○小学校の耐震化に3年間で約4億円を見込んでいるが、小学校の統合を棚上げて耐震工事を行うのは無駄遣いといえないか。 ○川西診療所は平成28年改築の予定だが、整備にあたっては町福祉計画の受け皿となるような施設にするべきだ。 ○埋蔵文化財資料館の現状と今後について。	○耐震診断の結果にもよるが、町は庁舎整備を第5次総合計画で進められればという意向である。 ○玉庭小学校の耐震診断の結果、校舎は耐震補強工事、屋内運動場は全面改築となる。現在、学区再編の協議会を開催しているが、安全を考慮し耐震化を先行させるとの町の方針である。 ○町から改築の方針が示されたが、福祉部門については一定の機能を付加するため、関係機関と調整中とのことであった。健康福祉センター構想との整合性が必要だ。 ● まちづくり課 施設の老朽化もあり、28年に供用予定の旧2中コミュニティ施設に埋蔵文化財展示機能を移転する計画である。
2	議員定数について ○議員定数に関する調査特別委員会を設置して検討することだが、構成は。また住民の意見はどうするのか。 ○1人が辞職し、現在数14人であるが支障があるか。 ○定数は人口だけで判断するのか。このままで良いと思う。 ○町として最低必要な議員数は。町民としては少ない方が良い。	○議長を除く13人の議員で構成される。住民の意見は十分考慮しなければならない。意見の聴取については特別委員会で検討される。 ○委員会運営に少なからず支障がある。ある一定の人数が必要ではないかという議論がある。 ○常任委員会制をとっているので現数が必要と思われる。平成26年3月までに特別委員会で結論を出す。
3	その他町政・議会全般に関すること ○LED街路灯が整備されたが、駅周辺のにぎわいがないければ商店街の振興、活性化は望めない。どんな計画があるのか。 ○人口が減少傾向にあるが、これ以上人口を減らさない方策を聞きたい。 ○過疎債は何年まで適用されるのか。また学校建設にも適用できるのか。 ○農地の基盤整備の状況は。 ○6次産業化の拠点施設の整備は。 ○入札制度について、相入札業者が一部であっても下請けをすることは考えられないが、どうなのか	● 産業振興課 平成25年度中に中心市街地活性化協議会を立ち上げ、26年度中に具体的な計画を策定する。 ○町の総合計画後期計画では過疎債を活用し、起業支援基金、子育て支援基金、人材育成交流基金の3基金を創設(それぞれ1億円)した。この財源を活用して事業を展開し人口減少対策の一方策となることに期待。 ○平成32年までの延長が決まっている。学校も対象事業に入っているため適用になる。 ○こうすく、高山地区に続いて続々名乗りが挙げられている。早急な整備が望まれるが、事業費の10%を町が負担することとなり、限度がある。今後国・県に対して町負担のガイドライン見直しを要望していく。 ○平成27年度に整備予定だが、場所、運営主体等まだまだ具体化していない。 ● 出納検査課 建設業法上では問題がなく、町としては、規制していない。

意見交換会

3会場で初開催

有意義な意見交換でした



小松地区



大塚地区



中郡地区

町民参加の拡大と議会の活性化を目的とした議会基本条例が制定され、平成25年5月2日より施行された。議会ではその具現化のため、住民と議会の「意見交換会」を開催することとし、議会運営委員会、広報広聴常任委員会で検討を進め

てきた。このたび小松、大塚、中郡の3地区で初の意見交換会を開催したが、多くの町民の皆さんの参加を得て、盛会裏に、そして有意義に終了することができた。意見交換会のテーマとして、「町有施設のあり方について」「議

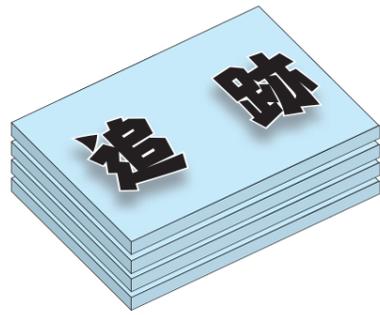
員定数について」の2つを設定した。町有施設のあり方については、庁舎、中央公民館をはじめとして老朽化が進んでいることから、再生整備が必要に迫られている。一方でこれらすべての整備を進めていくことは財政上の困難を伴い、

施設の複合化や効率化が求められる。さらに利便性や安全性も検討されなければならない。議員定数については、平成19年実施の選挙の際、それまでの定数19から15とした。その後2回の定数削減の請願を不採択としている。

ことを含めて、今回の意見交換会で、今回の意見を政策提言書としてまとめることとした。初めての試みにもかかわらず、各地区のセンター長、自治会長連合会の役員の皆様のご協力を頂き、大きな成果を残して終了できたことに感謝申し上げます。

『政策提言』会議へのご案内

初めての政策提言書の提出に町民の皆さんのご出席をお願いします。
 とき 1月20日(月)午後1時30分
 ところ 川西町議会議場



あれから…… どうなった!



三代目街路灯はLED

昨年8月より進められていた小松地区商店街の街路灯の改修が完成し、12月3日、その点灯式が行われた。LEDの照明はみちがえる程明るく、式典参加者から思わず歓声があ

った。これは24年9月に、川西町街路灯管理運営委員会(商工会・地元自治会で構成)より要望書が出されたもので、建設後35年を経て老朽化が著しいので、改修

ことからの、計画を変更して応募申請したところ、みごと採択されたものである。支柱も耐震性などを考えて全て新設となり、事業額は当初に比べ倍増することとなったが、町からの支援は約1800万円、25年度当初予算額と同額である。

このたびの街路灯は三代目。初代は昭和39年で、それから14年後に二代目が建てられている。その折の要望書には、「風雪に冒され老朽腐蝕、破損も甚だしく(中略)ただ単に残柱のみ醜悪の形骸を晒して、防犯灯の役すら果たし得ない」と書かれている。この時、期待される。

新時代の契機となれ! 小松地区市街地にLEDの街路灯

のための支援を願うというものであった。当初は支柱の補強とLED化との計画で、25年3月議会で補助支援が決定した。ところが4月、国が大型補正による補助事業を創設した

町は100万円を支援したが、商店街のシンボルとして、住民の安全施設として、各自治会が一基あたり7万2000円もの建設負担金をものともせず、完成に至ったことは驚きである。昭和という時代の熱気を思わせるものでもあった。

※LED Light Emitting Diode (発光ダイオード)
低電圧で発光する半導体。蛍光灯に比べ寿命が長く、消費電力が白熱電球の10分の1等の利点がある。

請願

意見書

新聞に軽減税率適用を

◎新聞の軽減税率に関する意見書

新聞は、国の内外で日々起る広範なニュースや情報を報道し、多様な意見・論評を広く国民に提供することによって、民主主義社会の健全な発展と国民生活の向上に寄与

している。

4月からの消費税増税においては、政府は「消費税アップに例外は作りたくない」と考えているようだが、多くの先進国では品目別の複数税率が導入されている。

新聞が果たす社会的使命を考慮し、政府に

は、「複数税率の導入」

「新聞への軽減税率適用」の実現を強く要望する。

・消費税増税に当たり複数税率を導入すること。

・新聞への軽減税率を適用すること。

賛成多数により可決

(反対2人)

採択

◎新聞への消費税軽減税率適用を目指し、政府への意見書提出について

《請願者》

川西町大字上小松
1471番地1
今野新聞店
今野 雄市

《紹介議員》
金子 一郎

《審査の経過と結果》

本請願は、4月から実施される消費税増税によって新聞の購読を中止する家庭が増えることを懸念している。また社会への関心が低下する心配があることを憂慮している。よって、消費税の複数税率の導入と新聞への軽減

税率の適用を求めるとするものである。

審査では軽減税率の適用は新聞だけでなく生活必需品、特に食品などにも適用すべきであるという意見や複数税率にすると平等性が失われたり、混乱する可能性があるという意見もあった。

12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により各議員の議案に対する賛否状況を報告します。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15
議員名	橋本 欣一	遠藤 章一	齊藤 智志	高橋 建一	黒澤 巖	高橋 照夫	淀 秀夫	加藤 俊一	島貫徳右門	高橋 忠	金子 一郎	佐々木賢一	高梨 勇吉	齋藤 修一
議第76号 消費税等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号 新聞の消費税軽減税率の適用を目指し、政府への意見書提出について	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第26号 新聞の軽減税率に関する意見書の提出	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町提出議案8件、請願審査1件、議員発議2件で上記以外は出席者全員賛成でした。議第76号は町提出議案、発議第26号は議員提案議案、○は賛成、×は反対 議長は賛否に加わらない。

総務文教常任委員会 行財政改革を検証

ソフト事業の評価に課題あり



各事業のチェックは重要なポイント

11月13日、行財政改革の評価に対する検証を行った。
行政評価については、各課ごとの積み上げによる庁内評価と、町づくり委員会により外部評価がなされている。
228施策を100点満点で評価、点数化し、一目瞭然で施策の

遅れや問題点がわかるようになっている。外部評価については、前年度より評価が低い86施策をピックアップして評価している。
委員会で、内部評価のうち、特に点数の低いもの（評価が低く、問題ありとされた項目）を中心に質疑が行われた。
ハード事業（建物・施設建設など）については目に見えるが、ソフト事業（交流・研修など）は具体的効果をあらわせるような工夫があれば分かりやすいという指摘があった。

11月18日、川西町商工会と産業厚生常任委員会との意見交換会を行った。
商工会から①学卒者の町内定着、②道の駅構想、③プレミアム商品券の3つの提起があり、議会からは、①町有施設の在り方、②議員定数1の2つを提起し意見交換を行った。
町有施設は、川西消防庁舎の建設計画の有無や小学校の統合化を急ぐべきとの意見と同時に、子育ては地域と一帯で行うべきとの意見や地域コミュニティの崩壊につながる恐れのある場合は、慎重にすすめるべきとの意見も出された。
議員定数では、現状

維持でいい、しっかりと議会の役割を果たしてもらうことが重要であるとの意見も出された。
道の駅構想については、イオンタウンやウエルマート誘致問題は、情報として重要であり関連性があるがどうなっている。また、先進地の道の駅では、そこに行ってみると言われる「商品開発」が行われている。6次産業とからめて追



商工業の発展は町の活性化のカギをにぎる

産業厚生常任委員会 プレミアム商品券、 今後も継続を

求すべきであるなどの意見交換を行った。最後に、プレミアム商品券は、商工会でも重要な事業であり、次年度以降も継続を求める意見が出された。

議会運営委員会 意見交換会を前に津南町へ 『事後処理が最も重要です』

10月29日から30日の日程で、議会運営委員会の視察調査が行われ

た。調査地は新潟県中魚沼郡津南町議会。長野県との県境に位置し、

日本有数の豪雪地である。

生かせ、意見交換会の先進地の事例



同町議会は、平成20年、全国の地方議会にさきがけて議会報告会（報告会及び住民懇談会）を開催し、それをもとに要望事項をとりまとめ、それに対する町当局の回答を公表している。さらに回答の翌年には、その事項がどの程度実施、または計画化されたかなどを調査整理して「回答検証報告」を行っている。まさに議会改革のパイオニアといえる。
意見交換会で最も留意すべきことはとの質問に、津南の議運委員長は、「事後処理をキチンとすることが最も重要」と述べられた。

広報モニターから

ひとつこと②

中郡 那須 京子さん



今まで議会だよりという表紙の見出しを見て関心がなければ、中味の記事まで読んでみる事はありませんでした。しかし広報モニターの依頼を受け改めてページをめくってみると、そこには私が疑問に思っていた事に対する答が書かれていた事に驚きました。

例えば、空き家条例が制定された事。ここ高山地区でも空家が数軒見られます。これから冬本番、雪の問題があります。見て見ぬふりもできないのではないのでしょうか？
旧二中校舎の問題にしてもそうですが、「甘かった見直し」と見出しがありました。本当に甘かったと思います。それにひどい雨漏り。このままにしておくこともできず、ここに修理費が発生することになりました。
旧二中校舎は何のためか校舎だったのかと、思うのは私だけでしょうか？
若者が町を出て行きます。子どもたちの数が少なくなる事実を真剣に受け止め、町民、議員が意見を交換しあい、若い人が帰って来たい町づくりをお願いしたいです。

まちの未来が見える
(12月定例会の傍聴者は3人でした)
**議会傍聴に
おいでください**
次の定例会は3月です

議会傍聴において下さい。TVやインターネット録画とは違った緊張感があります。次回議会は3月初旬開催の定例会です。手続きは簡単です。役場正面階段を上り3階正面で住所・氏名を書きだけです。ぜひ気軽においで下さい。詳しくは、議会事務局(42-6674)におたずね下さい。

町民の声



大塚地区にお住まいの安藤弥生さんに子育てや町に望むことを聞きました。

❖ プロフィール ❖

あんどう やよい
安藤 弥生

山形市出身、大塚在住。
夫、娘2人の子ども、夫の両親の6人家族。
家族、地域、人の愛情に感謝、明日のエネルギーとして頑張ります。

川西町に住んで思うこと

山形市から嫁いで9年目。初めは同じ県内なのに方言、文化、風習の違いに驚きとまどいました。

しかし、住めば都。今では生まれ育った場所よりも馴染んでいる私がいまいます。

最近一番の思い出

私にはとても元気な2人の娘がいます。地区内にもたくさんの子どもがいますので、一緒に遊んでいます。川西町の自然豊かな環境で、たくさん笑顔をもたらしています。

地区内でも愛護会などのさまざまな行事があり、大人も子どもも楽しんで参加できます。子育てをするには、川西町は本当に良い所です。

地区での最近の一番の思い出は、地区運動



笑顔があふれるすてきな家庭

会での総合優勝です。

子どもたちは運動会のために2週間前から、毎日のように応援練習をしたり、体力づくりをしたりしていました。

私たちはそれを支え、みんなで勝ちとった優勝だと思っています。

本当にうれしく、きずなを深めた出来事です。

町に望むこと

町の子育て支援として、平成24年から2才

までの子どもがいる家庭に、ゴミ袋配布をしています。家計に大変

助かりますので、これからもいろんな支援をしていただきたいです。

それと、冬期間、雨天時にも遊べるような、屋内施設などもあれば

いいなと思います。

川西町の大きな施設の一つとしてフレンドリープラザがあります。

子どもたちと利用させていただけいます。とても立派な施設で、

子どもから大人まで楽しめるような行事や演劇観劇などをもっと増やしてほしいです。

川西町はこれから小学校や幼稚園が統合していくと思います。地域から学校施設がなくなるのは親としても心配です。

地域と学校の連携が薄くなると思うからです。でもその分、家庭や地域との連携を

深めて、子どもたちが安心して過ごせるように、バックアップして

いきたいです。

編集のあとで

▼謹賀新年、昨年7月の参議院選は安倍政権の圧勝となり、本町農村のあるべき着地はどうなのか大いに議論すべき課題である▼議会基本条例の一つで町民の皆さんとの意見交換会を初めて3地区で実施した。残る4地区は今年の予定である。多くの皆さんのご意見をご期待▼年末年始と厳しい編集であるが予定どおり発行にこぎつけた。本年も愛読される紙面づくりに一同励む。(島貴)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 橋本 欣一
- 委員 島貴徳石工門
- 同 黒澤 巖
- 同 齊藤 智志
- 同 遠藤 章一
- アドバイザー(文章) 大友喜味雄
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 鳴 源一
- 齋藤 史郎